

第91回 顔振山ハイキング

若林 裕司

(有)若林商店(第11支部)

3月31日の日曜日に、最近よく耳にするフレーズの「平成最後」のハイキングへ行って来ました。当日の天気予報では、曇りのち晴れで気温も上がりますと言っていました。外は凍えるような寒さで、いまにも降ってきそうな雲行きです。

皆さん定刻ピッタリ集合致しました。本日の顔ぶれは、石井、乾、大河原、大井、高橋、原夫人、山本、若林の8名で出発です。今日はお花見宴会コースの筈だったのですが、東吾野駅周辺はまだ梅です。そして、更に残念なことに宴会場の平九郎茶屋の獅子鍋が、もうシーズンオフになってしまったこと、_|_|〇(ガッカリ)

今日はその鍋が目的だったのに、コースを変えれば良かったのにと、乾氏が言い出す始末で、3ヶ月前に日程を組んだことで、予定通りには行かないものです。

時間通り、9:15過ぎに出発しまして、目的地の越上山(566M)を目指します。道すがら早春の草花は見受けられ、鶯も鳴き声を練習しているようで、もう2週間後なら全部が揃ったと思います。登山道を90分位歩いた感じで、十二曲に着きました。ここまでは、順調に登りましたが、ここから越上山までがモー大変だったのなんの、小さい昇り降りを何回もしてヘトヘトになって、更に頂上直下に切り立った岩場があり、登って超えないと先に進めない、迂回路も無いので覚悟して登ってみました。このコースは二回目だと思っていたけど、こんな所あったかなと思いつつ、無事に頂上に到着しました。

木が沢山あって眺望ゼロ、ここで暫しお弁当時間です。思い思いに陣取っていても、とても狭い頂上で、我々がシートを広げると、もう他の人は入れそうもありません。今日は、いつものホットティーはありませんが、石井氏が担いできた冷たい缶ビールはあります。いつも、いつもありがとうございます。

グビグビと一気に飲みほしました。ここで飲むのはこれ位にしておかないと、下山道で転んだら大変なことになります。体も冷えてきたので平九郎茶屋へ出発です

。

30分ほどで顔振山の平九郎茶屋に到着です。天気も朝の寒さが嘘のように、晴天に早変わりです。前回ここに来たことは覚えていますが、前回と今日とではコースがまったく違うようで、この茶屋の近くで弁当を広げたことだけは覚えていますが。中に入るのは初めてです。今日は貸切のようで、やはり獅子鍋がないと客が来ないのかな?でもビールは沢山あるし、つまみは山菜の天ぷら、焼き鳥、みそ田楽位はあります。お通しのフキ味噌、これが一番おいしく、お酒が進みます。これ位しかつまみがありませんでしたが、店が暇なもので、山菜天ぷらの材料を聞いたら、説明におぼち

ゃんが出てきて、この天ぷらみんな市場の材料で、自家製はフキ味噌だけだったとネタ晴らし、今日は東京の桜が満開だから、この辺は人が来ないと話してしまして、やはり2週間後くらいでないとダメだと言っていました。

おばちゃんに、そろそろお開きにしましょうと言うと、今日はよく来て下さいましたと、感謝されてしまいました。最後に、おばちゃんも一緒に記念写真を一枚撮り、下山となりました。途中にカタクリの群生が見られて、春の訪れを感じられます。

「平成」から「令和」に変わった最初は、6月9日（日）に高水三山に行くことに決まりました。令和の時代もハイキング同好会を宜しくお願い致します。